



山田まちだより

平成 28 年 2 月号(通算第 18 号)
山田町派遣職員(静岡県交通基盤部)より

がんばってます！山田町

今年も静岡人には厳しい季節がやってきた！

今年の冬は気温の変動が大きく、例年より暖かい日が続いていたと思えば、1 月後半には日本列島全域で記録的寒波が猛威を振るいました。

その影響により、山田町でも積雪があり、仮設住宅や工事現場が真っ白に染まりました。

雪に慣れていない静岡派遣チームは、凍結した道路や駐車場に戦々恐々！雪の日は寒さと恐怖で震えながら通勤しています。



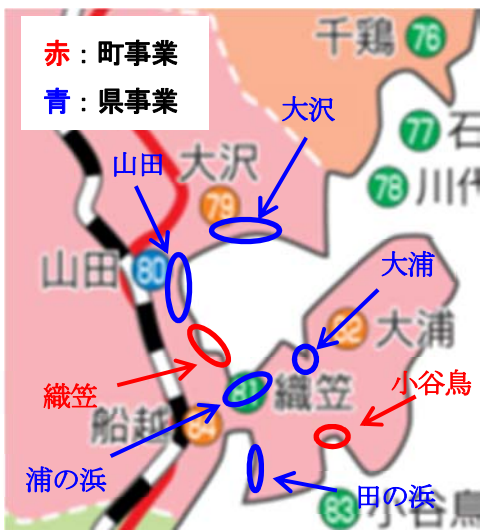
雪の中、出来形確認をする中戸川主査
防潮堤も雪化粧です



今シーズン初冠雪の仮設住宅

山田町に怒涛の防潮堤建設ラッシュが到来！

震災から 5 年近くが経過し、多くの復興事業が工事の佳境を迎えています。山田町内では県事業も含めて 7 箇所で開催防潮堤を建設しており、本体工事に着手している織笠防潮堤では、第 1, 2 ブロックの工事に加えて、第 3 ブロックの地盤改良(パワーブレンダー工法)が始まりました。まだいくつかの課題は残っていますが、一つ一つ解決しながら防潮堤の完成を目指します！



山田町内の防潮堤建設箇所



1, 2 ブロックの施工状況



3 ブロックの施工状況
地盤改良後、盛土をしていきます

小谷鳥漁港の物揚場復旧に着手しました！

防波堤の復旧を進めている小谷鳥漁港で、新たに物揚場の復旧作業に着手しました。物揚場や船揚場は早期復旧の要望が強く、漁師さん達の関心も高まっています。今は海が穏やかな時期のため、一気に工事を進めていきます！



被災施設の取壊中
台船は北九州から運んできました



物揚場の腹付工事中
ここから約 50cm 嵩上げします

ハイブリッド防潮堤を見学しました！

11月12日、渡辺交通基盤部管理局長ほか9名が被災地を訪れ、山田町内の視察を行いました。今回は岩手県の協力を得て、山田地区で整備中のハイブリッド防潮堤を視察しました。

新工法を見学することができ、視察者・派遣職員ともに興味津々の様子でした。



施工業者から説明を受ける一行

みんな大好き！やまだの鮭まつり

11月29日、待ちに待った「やまだの鮭まつり」が開催されました！今年には震災の年に放流した鮭が帰ってくる年で、放流数が少ないということもあり、鮭の不漁が続いていますが、おいしい鮭を求めて多くの人が集まりました。

河村技師は2015年の運をすべて使い切り、紐くじで生鮭を、抽選会では鮭フレークを当てる快挙を成し遂げました！



生鮭を当てた河村技師(左)

わかめ、のしかかを当てた山本係長(右)

復興県土づくりシンポジウム開催！

1月21、22日には、盛岡で「復興県土づくりシンポジウム」が開催されました。被災地で勤務する県や市町村の職員が壇上に立ち、それぞれの事業で採用した技術や、制度、被災地特有の課題などについて発表を行いました。

トークセッションでは、静岡県土木防災課の八木主査(平成25年度に釜石へ派遣)が招待され、被災地での体験について語ったほか、岩手県内(派遣職員含む)の女性土木技術者(けんせつ小町*)が、日ごろ感じていることなどを語りました。

※けんせつ小町とは、建設業で活躍する女性技術者・技能者の愛称



各県の派遣経験者とけんせつ小町

道の駅スタンプラリー

皆さんは道の駅を利用したことはあるでしょうか？道の駅はトイレなどの休憩機能のほか、産直品売り場などの地域連携機能、道路や観光についての情報を発信する情報発信機能を併せ持った施設です。

そんな道の駅では、東北や中部などのブロックごとにスタンプラリーが開催されています。今年度は山本係長、河村技師(山田町派遣)・朝田主査、白鳥主査(岩手県派遣)が東北道の駅スタンプラリーに挑戦し、全員が144箇所すべての道の駅を完走しました！



いなかだて(青森県)は道の駅ランキング1位

見事な田んぼアートが楽しめます



6県144駅の思い出はプライスレス

発行:岩手県山田町 水産商工課水産チーム
山本庸介・中戸川達矢・河村健春(静岡県交通基盤部派遣職員)
ご意見・ご要望のある方はこちらへ TEL 0193-82-3111
Email kawatake-pr@town.yamada.iwate.jp